

# 2021 課題研究発表会

## ～ 情報経営科3年生が研究成果を発表 ～

令和3年12月14日（火）情報経営科、機械科による課題研究成果発表会を開催しました。1年間の研究成果を2年生の後輩たちの前で発表し、2年生は来年度の課題研究選択の参考にする機会となります。3年生は大変緊張したと思いますが、わかりやすく丁寧に後輩たちの前でプレゼンを行いました。

情報経営科のトップバッターは時事問題研究班の「新聞各社による社説比較」です。本校は、今年度 NIE 実践指定校として認定されており、春から複数の新聞に目を通してきました。その中で、五輪開催に関する論調が各社により異なることに気づき、社説を比較しながら各班の意見をまとめることにしました。新聞社により論調が異なることが、多くの生徒の興味関心を惹きつけたようでした。



続いて商品開発販売班が発表しました。まずは、10月に和歌山市で開催された商業教育フェスタについて紹介されました。昨年度の生徒が考案した稲むら最中や、有田市のカフェ MAKENA 様の自家製かんきつソーダを販売し、総額83,800円の売上があったとの報告に会場内からも驚きの声が上がりました。また、12月恒例の箕高カフェについても、しっかりとPRをしていました。昨年度は中止となった分、今年は地域を盛り上げたいと意気込んでいました。

最後に、地域課題研究班が「貧困と格差による地域リスク」というテーマで発表しました。4月から弁護士やSSW、民生委員、行政職員、研究者など様々な方からお話を聞きながらまとめました。昨今のコロナ禍で貧困、格差が大きな社会問題になっています。2年生からも、「自分ごとのように考えないといけないと感じた。考えさせられた。」という意見が寄せられていました。地域課題研究班は、2月11日（金祝）にオンライン異世代活動報告会の際でも研究成果を発表します。

また、機械科のものづくりの発表にも大変関心をもちました。完成された作品だけを紹介するのではなく、一つのものを完成するまでの試行錯誤の過程が丁寧に発表されていました。情報経営科は、機械科のように直接ものづくりに関わることは少ないが、「アイデアを創り、地域を創る」ことを目標とし、来年度はもっと素晴らしい発表ができるよう2年生にも受け継いで欲しいと願います。